

農林水産業の競争力強化

① 施策の目的

農林水産業の競争力の強化を図るとともに、農林漁業者の所得向上を実現する。

② 施策の概要

農林水産業の競争力強化に向けて、画期的な農業イノベーション、中山間地域の農業所得向上へのインフラ整備等を加速する。また、「総合的なTPP関連政策大綱」に基づく施策を着実に実施する。

さらに、農業者の所得向上を図るには、生産コストの削減と農産物の有利な条件での販売が重要であり、生産資材価格の引下げ及び流通・加工構造の改革、土地改良制度の見直し、原料原産地表示の導入等に全力をあげる。

③ 施策の具体的内容

画期的なイノベーションの推進

- ・AI等を活用した熟練農業者のノウハウの「見える化」
- ・研究成果の「見える化」
- ・目標を明確にした戦略的技術開発



中山間地域の農業所得向上

- ・中山間地域において収益性の高い農産物の生産・販売等に取り組む地域の基盤整備、生産・販売等の施設整備等を総合的に支援
- ・CLT利用促進総合対策



「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づく施策の着実な実施

- ・農地の大区画化・汎用化の推進、水田農業の収益力向上、森林整備、漁港整備 等

「総合的なTPP関連政策大綱」に基づく施策の着実な実施

- ・次世代を担う担い手の育成（農業経営塾の地方展開等）
- ・産地イノベーションの促進（産地パワーアップ事業等）
- ・畜産・酪農の総合的な収益力強化（畜産クラスター事業等）
- ・合板・製材の競争力強化（木材加工施設や路網の整備等）
- ・収益性の高い操業体制への転換（リースによる漁船の導入等）



生産コスト削減と農産物の有利販売

- ・生産資材価格の引下げ
- ・農林水産物の流通・加工構造の改革
- ・農地集積バンクと関連した土地改良制度の見直し
- ・全ての加工食品への導入に向けた原料原産地表示に係る実行可能な方策についての検討 等

→「農林水産業競争力強化プログラム」（仮称）を年内を目途に策定

農林水産業の競争力強化・農林漁業者の所得向上

① 施策の目的

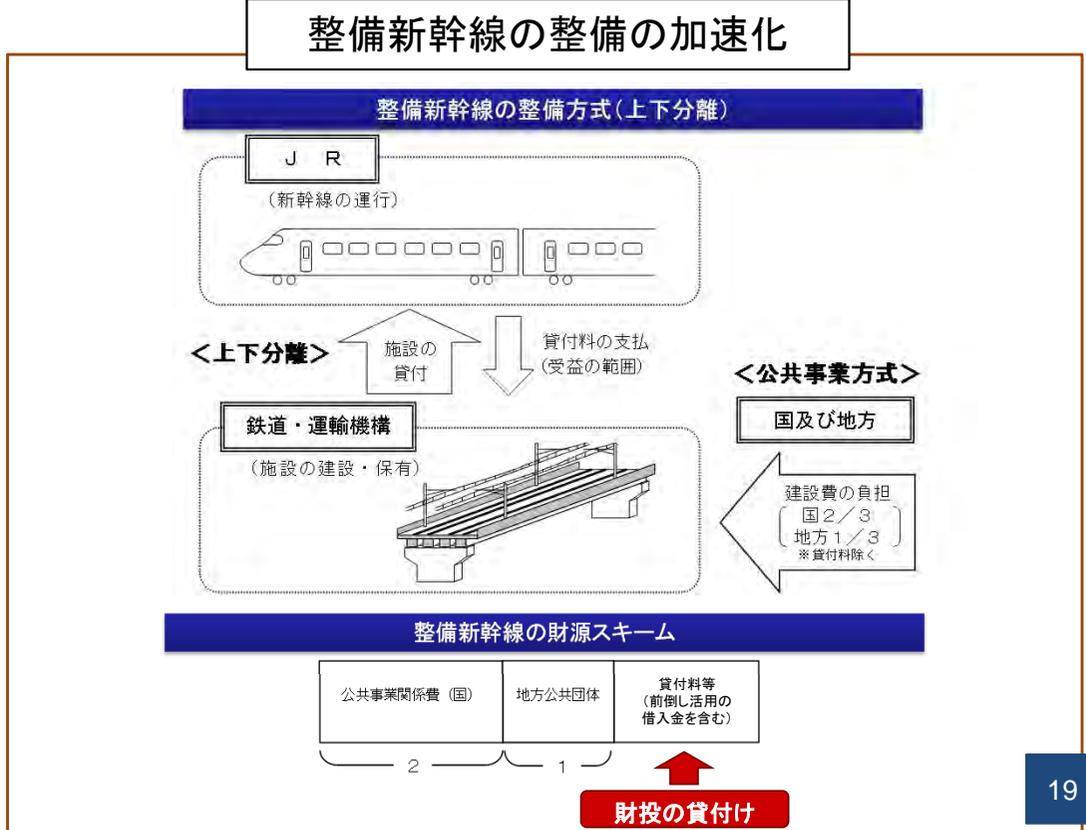
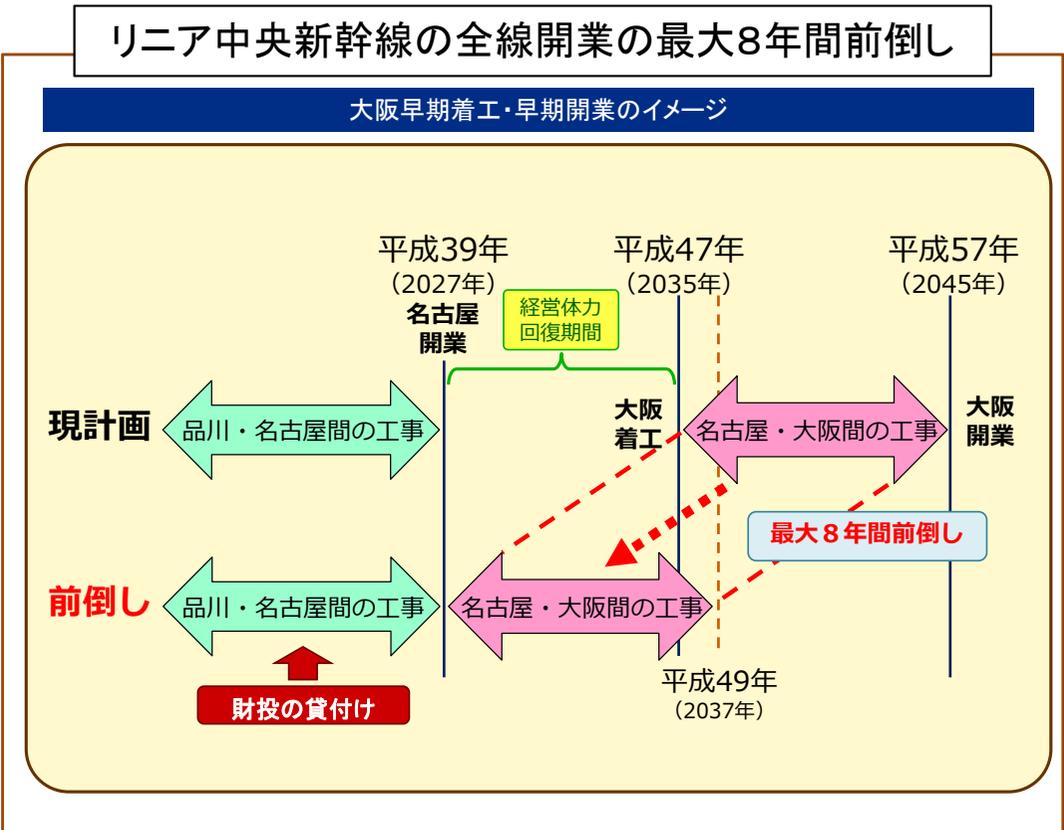
現下の低金利状況を活かし、財政投融资の手法を積極的に活用・工夫することにより、リニア中央新幹線の全線開業を最大8年間前倒し、整備新幹線の整備を加速化する。

② 施策の概要

【リニア中央新幹線】 JR東海が進めている品川・名古屋間の工事に対し、財政投融资による長期・固定・低利の貸付けを活用。これにより、JR東海の長期債務残高の増加を抑制し、債務水準の圧縮のために工事を行わない期間（経営体力回復期間）をできる限り短縮することにより、名古屋開業後連続して、名古屋・大阪間の工事に速やかに着手し、全線開業までの期間を最大8年間前倒し。

【整備新幹線】 整備新幹線の建設には、公共事業関係費（国・地方）のほか、貸付料（既開業及び既着工区間分を含む）を充てており、貸付料を返済財源とした前倒し活用をするに当たって、長期・固定・低利の財投を活用することにより、金利負担を縮減し、整備新幹線の整備を加速化する。

③ 施策の具体的内容



開かずの踏切等対策の推進

① 施策の目的

開かずの踏切等の解消に向けた連続立体交差事業等の踏切対策を推進し、安全かつ快適なまちづくりを促進。地域の関係者と連携した効果的な対策を総動員することで、安全な道路空間の創出と円滑な移動を確保するとともに、次世代に引き継げる社会資本の整備を行う。

② 施策の概要

開かずの踏切等による踏切事故や交通渋滞を解消するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化等を図るため、連続立体交差事業等により踏切等対策を推進する。

③ 施策の具体的内容

■ 施策のスキーム

- ・社会資本整備総合交付金
- ・防災・安全交付金

■ 実施要件(対象、補助率等)

- ・道路事業(一般国道、都道府県道又は市町村道の新設、改築、修繕等に関する事業)

■ 成果イメージ(写真参照)

- ・鉄道を連続的に高架化し、複数の踏切を除却することで、踏切事故や交通渋滞を解消。



京成押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業(H27.8高架化)